

社会資本整備審議会 道路分科会
平成29年度 第2回 四国地方小委員会
議事概要

1. 日時：平成30年3月8日（木） 16:00～17:00

2. 場所：高松サポート合同庁舎 13階 1306・1307会議室

3. 出席者

[委員長]

山中 英生 徳島大学大学院理工学研究部 教授

[委員]

石原 俊輔 四国経済連合会 専務理事

倉内 慎也 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授

近藤 明子 四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授

野々村敦子 香川大学工学部安全システム建設工学科 准教授

渡邊 法美 高知工科大学経済・マネジメント学群 学群長 教授

4. 議事内容

(1) 四国地方小委員会及び新規事業採択時評価について

(2) 新規事業採択時評価

・一般国道33号 松山外環状道路インター東線

5. 審議結果

一般国道33号 松山外環状道路インター東線の新規事業化については妥当である。

6. 主な意見

- ・本事業は、松山市内の渋滞緩和にとって不可欠な事業であるため、新規事業化に反対する理由は見つからない。
- ・四国内を循環する8の字ネットワークの整備も重要だが、本事業のような都市部の環状道路なども早く進めてほしい。
- ・渋滞緩和や交通事故減少など事業効果が大きく見込める事業であるが、B/Cが低く感じる。生活道路での事故減少便益も計上するなどの更なる工夫も必要ではないか。
- ・本事業の整備に加え、計画されている「東温スマートインターチェンジ」の整備により、渋滞緩和などの効果が見込まれるため、松山外環状道路インター東線を早く整備してほしい。